

田村市次期廃棄物処理施設整備事業に係るサウンディング型市場調査 対話実施結果

1 概要

対話期間	令和 6 年 10 月 17 日（木）～10 月 23 日（水）
場所	田村市役所会議室
対話方法	直接対話（個別、非公開）
対話時間	1 参加者当たり 1 時間
参加事業者数	6 社（プラントメーカー 2 社、廃棄物処理事業者 4 社）

2 対話での主な提案

（１）ごみ処理方式のアイデア

- ・災害時の復旧対応を図るとともに脱炭素社会実現にむけた熱回収施設
- ・景観を含め地域に適合した環境低負荷型のバイオガス化施設
- ・今後の人口減少に対応する施設整備と運用を考慮した熱回収施設
- ・人口減少による市の財政負担増回避、防災拠点機能及び CO₂削減機能を備えた熱回収施設
- ・周辺施設との連携による資源循環社会及び脱炭素社会形成に寄与する処理方式
- ・人口減少による市の財政負担増回避及び脱炭素社会形成に寄与するごみ燃料化施設

（２）廃棄物処理施設を核とした多面的価値創出のアイデア

- ・発生するエネルギーの地産地消
- ・再生資源燃料の地産地消
- ・グリーン電力の地産地消
- ・熱利用
- ・産業振興（熱源需要家への供給）
- ・小中学生等を対象とした環境学習へのニーズに応えられる施設
- ・環境学習機能（親子向け見学会等）
- ・環境学習や地域経済循環に関する生涯教育
- ・立地条件に合わせた環境学習・防災拠点・活動拠点
- ・脱炭素化社会に向けた教育
- ・B C P 対策（災害等により停電しても自立運転）
- ・災害時の避難所としての利用

3 今後の検討の進め方

本調査でいただいたご意見を参考に、処理方式等を検討していきます。

※本調査結果概要の公表は、「P P P 事業における官民対話・事業者選定プロセスに関する運用ガイド」（内閣府、総務省、国土交通省）に基づき、対話プロセスにおける公平性・透明性の確保のために行うものです。なお、事業者名や企業のノウハウに関する内容は非公表とします。

以上